看護学部／看護学科	職名	講師	氏名	手島 聖子

１．教員紹介・主な研究分野

養育者が安心して育児ができる環境を構築するために、子どもの発達過程に応じた養育者の育児ストレスや育児不安、育児ストレスに影響を与える個人的・社会的要因を短時間に把握できる質問紙を作成し、４カ月児の養育者と１歳６カ月児の養育者を対象に調査を実施してきました。近年は、被養育体験を基礎に形成された内的ワーキングモデルがどのようにして養育者に世代間伝達されるのか、養育者の成育歴における被虐待歴や親から愛されなかった思い、親との対立、厳格な親に育てられたなど環境要因が養育者自身の育児にどのような影響を与えられるのかについて検討しています。児童虐待予防における保健師の実践活動に活かせるよう研究を進めていきたいと考えています。

教育においては、在宅および地域で生活する人々を意識した教育が求められています。1 年次からの「地域・在宅看護論」関連する科目において、地域に暮らす人々の理解とそこで行われる看護について、学生とともに学びを深めていきたいと考えます。また、地域包括ケアシステムにおける多職種との連携・協働していくために、地域看護学の視点や方法論を取り入れ、地域の特性と健康課題をアセスメントする力を養うとともに、地域での活動の幅を広げていけるような学生の看護師教育に取り組んでいきたいと考えています。

２．研究業績

①最近の著書・論文

②その他最近の業績

③過去の主要業績

- 手島聖子．(2002)．養育者の育児ストレスと育児支援システム：乳幼児健康診査を通した子育て支援と児童虐待の予防について．（財）安田生命社会事業団 2001 年度研究助成論文集，37，30-38.
- 手島聖子．原口雅浩．(2003)．乳幼児健康診査を通した育児支援：育児ストレス尺度の開発．福岡県立大学看護学部紀要，1（1），15-27.
- 手島聖子．(2007)．乳幼児健康診査を通した育児ストレス調査：育児ストレス尺度の信頼性と交差妥当性の検討，家庭教育研究所紀要,29,77-83.

３．外部研究資金

４．受賞

５．所属学会

日本公衆衛生学会、日本看護科学学会、日本地域看護学会、日本心理学会、日本発達心理学会、日本公衆衛生看護学会、日本子ども虐待防止学会、日本看護協会

６．担当授業科目

暮らしを知る実習・1 単位・1 年・後期、暮らしの中の看護を知る実習・1 単位・2 年・前期、家族看護学・1 単位・2 年・前期、地域・在宅看護論・2 単位・2 年・後期、在宅看護学演習Ⅰ・2 単位・3 年・前期、在宅看護学演習Ⅱ・1 単位・前期、在宅看護学実習・2 単位・3 年・後期、専門看護学ゼミ・2 単位・3 年・通年、統合実習・2 単位・4 年・通年、在宅看護学実習・2 単位・4 年・前期、卒業研究・2 単位・4 年・通年

７．社会貢献活動

８．学外講義・講演

・福岡県立光陵高等学校（2023.4.27）
・福岡県立新宮高等学校（2023.10.20）

９．附属研究所の活動等